里山の楽しさを伝えたい

（岡山県矢掛町下高末地区）

下高末地区は岡山県矢掛町の北部に位置し、山沿いになだらかな棚田の広がる里山の地域である。地区の中心を流れる美山川の水が豊富にあること、朝夕で適度な寒暖の差があり、美味しいお米がとれることから、従来より盛んに稲作が行われてきた。

また、四季を通して里山の美しい風景が見られ、特に、秋に美山川の土手を埋め尽くすように咲く彼岸花の景色は素晴らしい。

地区では、有志の農家で結成された「下高末棚田保全組合」を中心として都市住民との活発な交流活動が行われている。

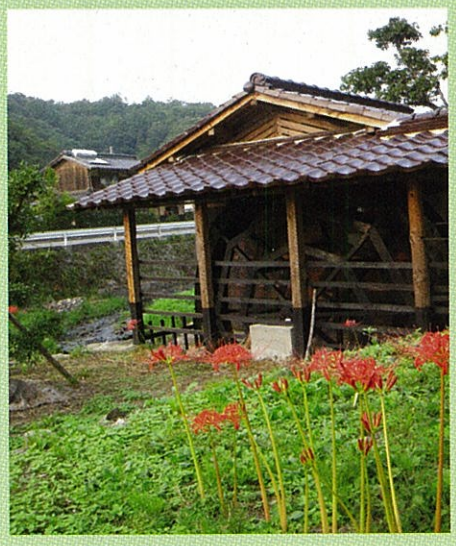
写真提供／矢掛町

下高末地区の風景

下高末地区は、棚田と里山に囲まれた谷筋の集落である

景観形成の一環としてヒガンバナを栽培

棚田保全組合の活動



地元住民が整備した水車小屋

耕作放棄地の復田作業

（写真提供／矢掛町）

棚田オーナー制度による
農業・里山体験

田植え、稲刈りのほか、多彩な活動メニューが用意されている

手作りの炭窯で炭焼き体験

しいたけの原木栽培